

竹と竹細工の現在

竹は現代の日本においても重要な役割を果たしています。工芸品や消耗品の材料となる以外に、工業分野では竹炭が、製紙ではパルプとして、そしてバイオマス燃料としても使用されます。さらに、竹林そのものにも土壌の侵食を食い止めたり、防風林や、洪水を防いだりと重要な役割があります。また他の多くの材料と比べても、竹は環境に優しくサステナブルな素材です。

別府市竹細工伝統産業会館では、竹製品に関する知識を広め、制作技術を守っていくことを目的としています。一方、大分県立竹工芸訓練センターでは、現代の市場に合った製品を作る実用的な技能を習得するための人材育成を行っています。このような目覚ましい取り組みにより、別府市ならびに大分県は過去と現在、伝統と工業を結びつけ、人々の竹の重要性の認知拡大、竹製品の利用促進を願っています。